

第7回 仙北市政策検証市民委員会 次第

日時：平成24年8月3日（金）
13：30～

場所：仙北市役所田沢湖庁舎
第1会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 案 件

①第6回委員会での決定事項の確認

②分野別政策検証

I 「医療を再生し福祉を充実します」（約束3）

アクションプラン 15, 16, 17, 18, 19, 20 全6項目

③次回委員会の日程と検証対象の確認

4. 閉 会

仙北市政策検証市民委員会 配布資料一覧

開催日	資料名	配布方法	チェック	備考
第1回 H24.5.15	仙北市政策検証について	当日		
	仙北市政策検証市民委員会設置要綱	当日		
	仙北市政策検証市民委員会委員名簿	当日		
	アクションプラン検証一覧	当日		
	達成目標とする指標	当日		
	仙北市の政策に係る検証結果（外部検証結果）	当日		
	今後の進め方について	当日		
第2回 H24.5.22	仙北市政策検証市民委員会の設置目的の確認	当日		
	政策検証市民委員会設置までの経緯	当日		
	仙北市政策検証について（政策検証市民委員会の設置目的の確認）	当日		
	政策検証資料について	当日		
	マニフェスト検証資料（実施計画ベース）	当日		
	門脇みつひろ 市政公約集「明日を創る8つの約束」	当日		
第3回 H24.6.5	「地域運営体」概要説明資料	事前		
	地域運営体 事業項目別平成22年度実施事業	事前		
	地域運営体 事業項目別平成23年度実施事業	事前		
	第2次仙北市行政改革大綱（実施計画書）	事前		
	第2回委員会の決定事項（検証結果一覧含む）	当日		
	仙北市地域運営体設置要綱	当日		
	一般行政職の級別職員数の状況	当日		
第4回	第3回委員会の決定事項（検証結果一覧含む）	当日		
	職員数に係る類似団体比較資料	当日		
	職員の平均給与月額等及び職員数の状況（H24年4月1日現在）	当日		
	人口1万人当たり職員数・職員に占める7級（部長）から4級（課長補佐）までの割合	当日		
	平成24年度観光関係補助金一覧	当日		
	第2回～第3回委員会までの会議録	当日		
第5回	第4回委員会の決定事項（検証結果一覧含む）	当日		
	第4回委員会の会議録	当日		
第6回	第5回委員会の決定事項（検証結果一覧含む）	当日		
	総合産業研究所取組実績及び成果等	当日		
	総合産業研究所の非常勤特別職及び一般職任期付職員の活動について	当日		
	第5回委員会の会議録	当日		
第7回	第6回委員会の決定事項（検証結果一覧含む）	当日		
	市立病院収支決算・診療所収支決算	当日		
	第6回委員会の会議録	当日		

第6回仙北市政策検証市民委員会の決定事項

- 日 時 平成24年7月19日（金） 13時35分～16時50分
- 会 場 仙北市役所田沢湖庁舎 第1会議室
- 出席者 委 員 牧田委員長・大和田副委員長・佐々木委員・堺委員・草薨委員・田口委員
佐藤委員・橋本委員・西村委員・藤村委員 10名
- 市 田邊副市長・倉橋総務部長・佐藤総務部次長兼企画政策課長
田中総務部次長兼財政課長・運藤総務課長・門脇財政課課長補佐
高橋総合産業研究所長・大山所長補佐
太田観光商工部長・草薨観光課長・平岡商工課長・大山商工課課長補佐
事務局 企画政策課 戸澤参事・大澤政策推進係長・柏谷主事 15名

【決定事項】

1. 次回の第7回委員会は、8月3日（金）午後1時30分から田沢湖庁舎とする。
検証テーマ
約束③「医療を再生し福祉を充実します」
アクションプラン 15、16、17、18、19、20 全6項目

※今回検証したアクションプラン5・6・7・8・9・10・11・13の評点とコメントは別添のとおり

仙北市政策検証市民委員会 検証結果一覧

約束②「4年間で所得10%以上増やします」 平成24年7月19日委員会
アクションプラン5【総合産業研究所の新設】

委員名	評点	コメント
佐藤委員	2	総合産業研究所はかなり期待されていて商品開発まで手掛けるところなので難しい面があると思う。当初の予定どおりにっていない部分があり、人材の確保が一番難しいのではないかな。
田口委員	2	私達は評価するための材料を全部手にしていないのではないかな。玉手箱に宝物が入っていると思って開けてみたら白い煙が出て来たようなもの。役所から説明される内容は自分達がこのようなことをやりましたということばかりで実態を十分説明していないのではないかなという印象。
堺委員	1	22年度と23年度にどういうことをやったということを、せっかく来られた副市長が、このような適当な評価でごまかさないでしっかりとした評価で総合産業研究所を建て直すことをしていただきたい。実際の数字は悲惨、大変なことをやっている、アンテナショップは恥ずかしくてとてもいけないような感じ。
佐々木委員	1.5	総合産業研究所を立ち上げて目玉としてやろうという門脇市長の意気は買うが実績は惨憺たる状況である。
大和田副委員長	2	新設して動き始めたことは評価したいが、商品が商品として売れるところまでやるという覚悟をしていただくこの2年間の痛い経験だったのではないかな。
牧田委員長	2	もう2年経ったからきっちり総括をして次に何をどう打ち出していくのかということが出て来ないと、真っ黒なままに4年間経ってしまいそんな感じがして不安。
草薨委員	2	なし
橋本委員	3	地域運営体で商品開発や加工食品のコンテスト等を行っており、中華ちまきは軌道に乗っている。研究所に教えてもらい順調にしている。失敗を恐れずに2年間本腰を入れて頑張ってもらえた。
西村委員	2	総合産業研究所の新設は良いことだと期待していたが全く考え方がずれている。民間の方の考えと市職員の考えのギャップがあまりに大きすぎた。外から知恵を借りれば良いと思ったが無責任な人を雇ってしまった。
藤村委員	2.5	なし

※平均点 2

アクションプラン6【食育と地消運動の展開】

平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	3	学校給食や保育所等の地場農産物利用拡大が実際に図れている。
田口委員	4	なし
堺委員	3	なし
佐々木委員	3	旧町村で食育をやっていてかなりばらつきがあったが協議会を作っており、実際はJAとも関係性が深いのもう少し上手くやれればと思う。
大和田副委員長	3	着手出来たことはとても期待している。
牧田委員長	3	取り組みが始まっているということの評価する。
草薨委員	3	生産者も販売者も研究所もお互いに足元をじっくり見るべきである。
橋本委員	3	なし
西村委員	2	地元野菜の使用率が上がったというが、研究所が出来て取り組んだと言う前にもう30年も前に気がつかないといけない。
藤村委員	3	なし

※平均点 3

アクションプラン7【市内と市外を結ぶ産業プラットフォーム事業】 平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	2	企業誘致が厳しい現状だと思うが、震災があり状況が変わってきた面もあるので、今後のこの事業の進め方は一から見直してやる必要があると思う。クリーンエネルギーや新エネルギーに向けたり農業法人であったり方向性を変えていく必要はあるのではないかな。
田口委員	2	外からの企業誘致が進んでいない。
堺委員	2	この項目は4年間で所得を10%以上増やしますという大命題の中に入っている。これで所得10%目指すための事業とすれば詫桜1件だけというのは評価としてはあまり良くない、副市長が来たのだから今年3つぐらい誘致企業を連れて来てもらえればありがたい。
佐々木委員	2	企業誘致がほとんどゼロに近いこと、本来であれば分配所得172万円の10%の190万円だが、200万円という目標を持ってやらしてもらわなければならないと思う。企業誘致は所得がアップする一番の効果のあるものである。
大和田副委員長	2	市長が精力的にトップセールスに回っているが、秋田県全体で企業撤退が続いている時に企業を誘致することがどれほど大変なことかはわかるのだが、足を運んで得た情報で仙北市で何をどのように整備すれば可能性が出て来るのかを見極める必要があるのではないかな、そういう作業が必要ではないかな。既存の事業所も大変苦戦しているが、既存中小業者もどうやってこの困難を乗り切るのかということの連携も問われている時代に今直面していると思う。
牧田委員長	2	何を特徴付けて誘致するか、気候的な条件も含めて、トップセールスでそれにかけるのはわかるが、これに期待するのは難しいという感じ。
草薨委員	2	仙北市の中に企業誘致の人脈がないのか、色々な手法があると思うがやはり人と人とのつながりの中で結ばれるのではないかなと思う。仙北市から中央に出ている人が一杯いるのでまだ夢があるのではないかなと思う。
橋本委員	2	もともと何十年前前から企業が来ることによって雇用の場が生まれ少子化対策にもなる。とにかく今は県でも少子化対策と言うが仕事がないから子供達が生まれません。この件についてはもう少し頑張って努力してもらいたい。
西村委員	2	企業誘致は、国内からも逃げていく時に秋田県の雪の降るところに企業が来るか、それだけの安い賃金があるか、条件はどうかというところかなり難しいと思う。それよりも今現存している色々なホテル業や製造業をやっている人達にもう少し何か、現在ある企業の雇用をいかに守るかというための施策・知恵・物心両方で応援して、これ以上この雇用を減らさないということのほうが得策なような気がする。
藤村委員	2	誘致企業が見込めないのであれば首都圏の企業のノウハウや技術を地元企業に伝授して、そちらの方向にシフトしたほうが一番早いと思う。

※平均点 2

アクションプラン8【食品加工産業群の育成】 平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	2	2年間で課題が見えてきたことは先行きに期待できる。行政として民間が出来ない部分をやっていただくことで、販路拡大やブランド化等に期待されるところだが、結果としてここまではまだ成果が上がっていない。
田口委員	2	なし
堺委員	1	なし
佐々木委員	1	4年間で所得を10%増やすということなので、半分経過して5%以上の所得が上がっていないけれども、ほとんど全滅の感じになっている。数を打ってどれか一つでも当たればという感じが見え隠れする。秋田県とJAのアンテナショップがあり上手くかみ合わせながらやっていけば費用対効果の点でコストの削減になると思う。
大和田副委員長	2	総合産業研究所の色々な取り組みの全てに言えることだが、作れば良い、やってみたいからやってみるのではなく、どうやって作ったものを売なのかヒットさせるのかというマーケティングをきちんと24年度以降はすべきだろう。市民の先進例を取り上げながら、その中で仙北市からこれを打ち出すという覚悟や戦略を持って臨むというリーダーシップを総合産業研究所がしてほしい。一緒に売って歩く、評価も聞いて歩く、汗を流して一緒に農家さんと歩く、加工業者と一緒に歩くということも含めて是非検討してほしい。
牧田委員長	2	民間や個人でも結構色々な商品になりそうなものを作っている。マーケティングの問題は、首都圏の親戚とか商店会とか色々あるが、それだけではなく、それぞれの仕事場で現場で東京に出たり仙台等に出たりして色々な努力をして、それを汲みつぶして方針化していくということが今必要ではないか。
草薙委員	2	何となく中途半端である。
橋本委員	3	なし
西村委員	2	自分達が作った商品が売れないで育成なんて出来るのか、指導力ゼロだと思う。商売をやっている人は研究所にそんなに期待しているのか疑問。
藤村委員	2.5	なし

※平均点 1.95

アクションプラン9【観光産業拠点特別区の創設】 平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	3.5	仙北市という名称になったことで埋もれてしまった田沢湖や角館のブランドを活かしていこうということは非常に良い方向に進んでいるように思う。
田口委員	2	特別区の創設に意味があるように思えない。個人の観光に変わってきているので目立つような観光施設だけではなく、農家民宿のようにそこに住んでいる人たちの生活を直接的に感じられるようなことが大切だと思う。江戸時代あるいは昭和の古い街並みがなくなっている現状があるので、そういった素材も、田沢湖や角館の武家屋敷以外にも、ごく当たり前の昭和の生活なども残していくことが、将来の観光の資源になっていくのではないかと。そういった意味で観光特区のように目立つところだけ特別に扱うということではないと考える。
堺委員	3	非常に良くやっているが、食事等を含めて市外産のものが多いということに対して、観光と商工が同じ場所にいるのだから早く連携してやってほしい。
佐々木委員	4	景観もきちんとやれるようにしてほしい、それが観光客に対する礼儀。あとはまごころで対応すれば良い。仙北市産の農・供給・旅館あるいは農家民宿、タイアップして将来的に物産公社みたいなものを作ってやれば良いと思う。
大和田副委員長	3	潜在能力を発揮するのはこれからということでその緒に就いたと思う。
牧田委員長	3	なし
草薙委員	3	やれば出来る。ただ手あぐらをかいているばかりではなく、自分でやっていくことで道が開けていくと考える。
橋本委員	3	なし
西村委員	4	まだ課題はたくさんあるので、これから色々な施策を行っていく必要があると思うが、その一つとして、市内の宿泊施設を活用して大学の合宿などを誘致していく事業は一定の成果があるようである。これをもっとブラッシュアップして欲しい。市内には色々な合宿や大きな大会などを誘致出来る宿泊施設があるので、それを活かすべくスポーツツーリズムに力を入れていくべきだと思う。
藤村委員	4	なし

※平均点 3.25

アクションプラン10【産業・職人マイスター制度の創設】 平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	3.5	仙北市の貴重な資源として伝統工芸品や素晴らしい文化があり、全てを作るのは人材、人が作るものなのでそこにマイスターというかたちで光を当てた制度自体は素晴らしい制度だと思う。
田口委員	3	どの程度の効果があるのか疑問を感じる。取り組みはされているが今後どういのかたちで所得を増やすことに繋がっていくのか確認出来ない。
堺委員	2	売り上げが下がっている訳なので、マイスターを制定することだけが良いとなると厳しい。命題の4年間で所得10%以上増やしますというのが非常に気になる。
佐々木委員	3	マイスターのかたちが所得10%に値するかということではかなり厳しいと思うが、マイスター制度は所得10%以外にも絶対残すべきである。
大和田副委員長	3	これで直接的に収入がどうアップするかということではなく、仙北市における色々なアイテムがとても光を放っていくことで仙北市全体がもう一つ展開していけるという意味の一つではないか、これからの活かしようだと思う。
牧田委員長	3.5	火振りかまくらの俵とかを作る資材は、これだけ減反になって空いた田んぼが一杯出来て、そういうものを使った何らかのものが作られることによって活かせるのではないか、観光にも活かせるのではないか、時代は変わっても心は変わらないこと、それを活かす方法はあるような気がする。一緒に考えていきたい。
草薨委員	3	マイスターについてはやるべきだしやっつけていかなければいけない。
橋本委員	3	ツル細工など素晴らしい技術を持っている人達がいるが売る気がないのが残念。しかし色々育成していく必要があると思う。
西村委員	3.5	今作っている人達もマイスターの人達もなかなかデザインのことまではいかず苦心しているし、新商品のための開発、開発された商品に光を当てる、それを売るためにやれば売り上げはすぐに上がると思う。取り組もうとしていることを評価する。
藤村委員	3	マイスター制度の創設は良いことで、技術というのは対価としては限らない何百万・何千万に値する価値だと思う。本当の技術を継承出来る人に伝授してもらいたい。

※平均点 3.05

アクションプラン11【中小企業振興条例の制定・支援の重層化】 平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	3	今後の課題がまだたくさんあるが、まずは条例を制定出来たということで評価する。
田口委員	4	一定の成果が出ている。
堺委員	2	条例を制定することに対しては非常に市として熱心だったが、条例を制定したのに何かやるという話しは一つも出て来ない。何かやらないと所得10%以上は出て来ないのではないか。
佐々木委員	3	産業振興基本条例を作ったことは評価出来る。いかに課題を今後どうするのかが一番重要。
大和田副委員長	3	この条例があるからこんなこともあんなことも可能だという可能性をもっと発信すべきだと思う。
牧田委員長	3	条例が出来たことを評価。
草薨委員	3	なし
橋本委員	3	こういうご時世だから何とか活用出来るようにもう少しPRしながら使ってほしい。
西村委員	3	震災後の利子補給もかなりの金額が投入され、他市町村に先駆けてやったというスピード感が良いと思う。注意深く手厚い指導を徹底してやってほしい。金を出して終わりではなくその後どうなっているか、どういう取り組みをしているかを商工課はある意味でコンサルタント業みたいなことをしっかり勉強したほうが良い。施策や資金面だけでなくコンサルタントみたいなことで親身になって市役所が先頭になってやるべき。産業育成のために将来金になることに金を使うべきだと思う。
藤村委員	3	条例の制定はなされたが、何をやるのかは何も見えていないのでそこを早急にしてもらいたい。

※平均点 3

アクションプラン13【市・観光協会・地域団体との連携推進】 平成24年7月19日委員会

委員名	評点	コメント
佐藤委員	4	観光協会の統一は西木地区に関しては問題があるようだが、連携が必要なことは合併当初から言われていることで、まずはその方向に向かっていくことを評価する。
田口委員	3	連携のかたちで田沢湖・角館観光連盟というそれぞれの名前が残ったことは良かったと思う。仙北市ではなく確立されたブランドを大切にしていこうという意味では良かった。角館と田沢湖の観光の性質は違うので、それぞれが競い合っていくという部分があっても良いのではないかと、自分たちの地域の為に一生懸命になることが大切であり、何でもかんでも一緒になれば良いということではないので、連携するところは連携し、競い合うところは競い合いながら、両輪で活動していければ良いのではないかとと思う。
堺委員	4	名前を決断したことが好印象で、今度名刺を配布しても一発でわかってもらえる状態になったのが非常に大きい。
佐々木委員	4	実際は難しいと思っていたが、3ヶ町村にあったものが1つのかたちになったことは評価したい。
大和田副委員長	3	4年間で評価5に持っていくためのとても良い助走段階に入ったと思う。
牧田委員長	3	良い出発は出来ている。もっと連携を強めていくという確約をしながら次に進んでいく展望は開けたのではないかとと思う。
草薨委員	3	なし
橋本委員	3	観光協会については合併協議会でもめたことがあった。それがまた再燃するのではと感じていることがある。
西村委員	4	なし
藤村委員	4	関係することで所得アップにつながっていくと思う。口先だけでは無くみんなが一緒になって取り組んで欲しい。

※平均点 3.5

市立病院収支決算（H22～H23）

単位：千円、%

区分		年度	市立角館総合病院		市立田沢湖病院		医療局	
			H22	H23	H22	H23	H22	H23
収入	1. 医業収益	a	3,915,939	3,805,673	903,608	928,375	0	0
	(1)料金収入		3,708,794	3,606,731	872,370	896,879	0	0
	(2)その他		207,145	198,942	31,238	31,496	0	0
	うち他会計負担金		60,900	60,900	0	0	0	0
	2. 医業外収益		341,541	357,538	120,008	119,915	0	0
	(1)他会計負担金・補助金		328,621	344,404	113,749	118,087	0	0
	(2)国(県)補助金		0	0	0	0	0	0
	(3)その他		12,920	13,134	6,259	1,828	0	0
	経常収益	(A)	4,257,480	4,163,211	1,023,616	1,048,290	0	0
	支出	1. 医業費用	b	4,169,756	4,110,681	1,058,444	1,069,877	0
(1)職員給与費		c	2,624,839	2,584,250	538,103	538,276	0	22,453
(2)材料費			784,731	763,940	337,715	343,212	0	0
(3)経費			619,238	620,990	120,737	126,560	0	1,611
(4)減価償却費			99,842	98,314	61,030	60,829	0	0
(5)その他			41,106	43,187	859	1,000	0	4
2. 医業外費用			96,790	93,126	53,128	53,990	0	86
(1)支払利息			22,684	21,676	27,297	26,437	0	0
(2)その他			74,106	71,450	25,831	27,553	0	86
経常費用		(B)	4,266,546	4,203,807	1,111,572	1,123,867	0	24,154
経常損益 (A)-(B) (C)			△ 9,066	△ 40,596	△ 87,956	△ 75,577	0	△ 24,154
特別損益	1. 特別利益	(D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失	(E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)		0	0	0	0	0	0
純損益 (C)+(F)			△ 9,066	△ 40,596	△ 87,956	△ 75,577	0	△ 24,154
累積欠損金(△) 又は繰越利益剰余金 (G)			△ 1,402,340	△ 1,442,936	△ 738,304	△ 813,881	0	△ 24,154
不良債務	流動資産	(ア)	643,838	677,236	144,086	152,951	0	△ 23,979
	流動負債	(イ)	402,190	432,024	353,076	400,363	0	175
	うち一時借入金		180,000	165,000	268,400	295,000	0	0
	差引	不良債務 (イ)-(ア) (オ)		△ 241,648	△ 245,212	208,990	247,412	0
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$			99.8	99.0	92.1	93.3	0.0	0.0
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$			93.9	92.6	85.4	86.8	0.0	0.0
職員給与費対 医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$			67.0	67.9	59.6	58.0	0.0	0.0
病床利用率(%)			82.9	78.9	78.3	79.6	0.0	0.0

仙北市国民健康保険特別会計（神代診療所・田沢診療所）
収支決算（平成22年度・23年度）

単位：円

		神代診療所		田沢診療所	
		H 2 2	H 2 3	H 2 2	H 2 3
収 入	1. 診療収入	81,021,029	83,053,727	15,208,486	15,271,454
	(1) 外来収入	72,051,107	74,301,133	15,071,686	15,154,904
	(2) その他診療収入	8,969,922	8,752,594	136,800	116,550
	2. 使用料及び手数料	702,450	820,050	29,400	54,600
	(1) 使用料	15,750	15,750	0	0
	(2) 手数料	686,700	804,300	29,400	54,600
	3. 繰入金	7,100,000	7,100,000	10,802,954	10,988,479
	(1) 一般会計繰入金	7,100,000	7,100,000	7,100,000	7,100,000
	(2) 神代診療所勘定繰入金			3,702,954	3,888,479
	4. 繰越金	52,700,365	37,776,736	19,223,000	14,323,497
	(1) 繰越金	52,700,365	37,776,736	19,223,000	14,323,497
	5. 雑収入	135,358	144,048	420	2,500
	(1) 雑入	135,358	144,048	420	2,500
	収入計	141,659,202	128,894,561	45,264,260	40,640,530
支 出	1. 総務費	78,713,014	78,736,007	19,243,331	20,272,476
	(1) 施設管理費	68,540,252	68,540,628	19,229,786	20,260,884
	(2) 研修研究費	10,172,762	10,195,379	13,545	11,592
	2. 医業費	15,571,916	21,497,668	11,697,432	11,385,517
	(1) 医業費	15,571,916	21,497,668	11,697,432	11,385,517
	3. 公債費	9,597,536	9,597,536	0	0
	(1) 公債費	9,597,536	9,597,536	0	0
	4. 予備費	0	0	0	0
(1) 予備費	0	0	0	0	
	支出計	103,882,466	109,831,211	30,940,763	31,657,993
	収支計	37,776,736	19,063,350	14,323,497	8,982,537

仙北市一般会計（西明寺診療所・桧木内診療所）
収支決算（平成22年度・23年度）

単位：円

		西明寺・桧木内診療所			
		H 2 2	備考	H 2 3	備考
収 入	1. 衛生使用料	72,019,772	(桧木内診療所分) 7,380,636	72,543,065	(桧木内診療所分) 8,069,200
	(1) 衛生使用料（診療収入）	71,700,572		72,177,665	
	(2) 衛生手数料	319,200		365,400	
	2. 衛生費県補助金	0		4,973,000	
	(1) 衛生費県補助金	0		4,973,000	
	3. 財産貸付収入	840,000		840,000	
	(1) 土地建物貸付収入	840,000		840,000	
	4. 雑入	10,349,962		10,676,599	
(1) 雑入	10,349,962		10,676,599		
	収入計	83,209,734		89,032,664	
支 出	1. 診療所費	76,077,951		81,064,954	
	支出計	76,077,951		81,064,954	
	収支計	7,131,783		7,967,710	